

**RD 12 解説と全訳例**

(1) The Irish are said to be blessed with the gift of *blarney*.

The Irish	(are said to) be	blessed	with the gift of <i>blarney</i>
A	=	B	される

- ・ be said to ~ は「~だと言われている」の意味。「be ~ to」は助動詞型だったね。
- ・ bless は「神が人に才能や恵みを授ける」の意味です。

△神は彼女に音楽の才能を授けた。  
 God blessed her with a gift for music.  
 これを受け身にすると「人 is blessed with 才能」の慣用句ができあがります。  
 △彼女には音楽の才能がある。

She is blessed with a gift for music.  
 ・ gift of *blarney* の A of B は「B という A」の同格。

★ *blarney* なんて単語は誰も知りません。英語は左に書いてあることを右で説明するので、この抽象名詞も右で必ず具体化されます。

【全訳例】アイルランド人は *blarney* という才能がある。

(2) This means that they are supposed to be skillful with speech.

This	means	that 文
主	意味する	何を

<文>

they	(are supposed to) be	skillful	with speech
A	=	B	

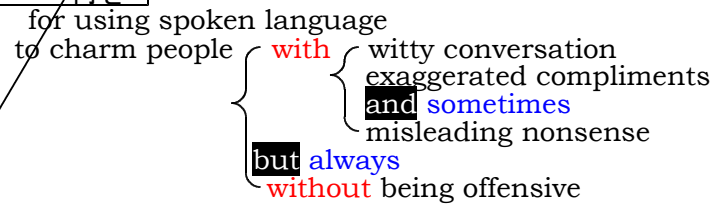
- ・ that 文は「ことシリーズ」で名詞の that。
- ・ they は the Irish
- ・ be supposed to ~ は「~であるものだ」とか「~するものだ」の意味で、主語の習性、性質、習慣を表現します。ここではアイルランド人の性質を言っています。「アイルランド人は話が上手だ」が良いでしょう。
- ・ 「人 is skillful with 事」で「人は事が上手だ」の意味。

【全訳例】このことは、彼らが話をするのが上手だということだ。

(3) That is, they have a talent for using spoken language to charm people with witty conversation, exaggerated compliments, and sometimes misleading nonsense — but always without being offensive.

That is [to say]

they	have	a talent
主	持つてる	何を



- ・ that is to say で「言い換えると」。他にも、in other words、namely も覚えておくこと。
- ・ talent for A で「Aの才能」。Aは名詞でも動名詞でもOK。
- △音楽の才能  
 a talent for music  
 △ピアノを弾く才能  
 a talent for playing the piano
- ここの a talent for using spoken language は「話し言葉を使う才能」よりも「話術の才能」の方が良い。
- ・ to charm people の to は「何するために? の to」。charm people は「人を惹きつける」とか「人をうっとりさせる」よりも「人を喜ばせる」の方がいい。
- ・ with は「手段・方法の with」

【全訳例】人を喜ばせるために、おしゃれな会話や、大げさな褒め言葉、そして時には誤解されかねない様なおバカなことを言うが、しかし、いつも不愉快な思いにはさせない話術の才能がある。

(4) *Blarney* differs from flattery in that flattery is obviously insincere and rarely inspires trust, agreement, or cooperation in the listener.

<i>Blarney</i>	differs	from flattery
主	異なる	in that 文

<文>

A	=	B	
flattery	{ is obviously and rarely inspires	insincere trust agreement or cooperation	in the listener
主	喚起しない	何を	

- ・ in that A で「Aという点で」の意味。この that は「熟語の that」で、忘れた子はここ (<http://blog.meigaku.ac.jp/yabu/?p=9499>) を参照しておくこと。
- ・ inspire は「人の中に閃きや感情、気持ちを産む」が原義です。そこから「引き出す」とか「与える」の訳語が出てきます。

【全訳例】 *blarney* とへつらいとが違うのは、へつらいは明らかに不真面目で、聞き手から信頼や同意や協力を引き出すことはないという点である。